付託事件等審査結果報告

平成30年10月4日

薩摩川内市議会企画経済委員会
委員長 下園政喜

1 委員会の開催日

9月26日、27日（2日間）

2 付託事件及び審査結果

議案第99号 決算の認定について（平成29年度薩摩川内市一般会計歳入歳出決算）のうち本委員会付託分

本決算は、認定すべきものと決定した。

なお、審査の過程において述べられた意見・要望の概要は、次のとおりである。

- (1) 鹿児島大学が行っている地（知）の拠点整備事業（COC事業）について、現在、本市からエネルギー、観光、離島及び防災の分野において講師を派遣しているが、同大学との連携に当たっては、本市にとっても有益な成果が得られるよう努められたい。
- (2) 農地利用の最適化に係る推進に当たっては、市が先導しながら、農業委員及び農地利用最適化推進委員と更に連携して取り組まれたい。
- (3) 松くい虫の駆除に当たっては、早期に被害を防止するため、被害木の伐倒が効果的であると考えられることから、同取組についても関係機関と連携して取り組まれたい。
- (4) 市内の農水産物の販路拡大については、関係課や株式会社薩摩川内市観光物産協会等と連携しながら市内外へPRするとともに、6次産業化の取組による売上げを更に伸ばすためにも、加工品の付加価値を高めるよう取り組まれたい。

採決後、委員から付帯決議が提出され、本決算に対しては、次の付帯決議を付することに決定した。

3 付帯決議

甌島館の施設整備費用として、株式会社アイ・ビー・キャピタルに対し、概算払いで交付した甌島地域宿泊施設整備費補助金1億円が未精算となっていることから、監査委員の一般会計・特別会計歳入歳出決算等の審査意見においても、本件に対し指摘がなされることとなった。

一方、本市から株式会社薩摩川内市観光物産協会への委託事業については、少なくとも19件、総額2億円以上の多額に上り、また、全て同社との1者見積りによる随意契約となっており、同社が本市に依存している状況にあることが本決算の審査を通じて明らかになった。

については、このようなことから、次のことについて十分留意し、適切な措置を講じるよう強く求める。

- (1) 甌島地域宿泊施設整備費補助金が未精算となっていることを踏まえ、今後の施設整備費補助金等の交付に当たっては、概算払いにおける庁内の方針を明確に定め、これを厳守するとともに、事業計画や資金計画等を十分に精査し、同様な事象が発生しないよう慎重に取り組まれない。
- (2) 甌島館に関する本市と株式会社アイ・ビー・キャピタルの主張には大きな隔たりがあることから、今後の裁判の状況等については議会に報告されたい。
- (3) 全国の第三セクターの経営破綻は、第三セクターが出資自治体に対し、依存したことが主な要因とされていることから、本市から株式会社薩摩川内市観光物産協会への委託事業については、同社の自立的な経営を損なうことなく、また、競争原理が働くよう、今後、十分に再検討されたい。
- (4) 予算執行に当たっては、地方自治法に最少の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならないと規定されていること、また、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律の立法趣旨を踏まえ、適正かつ効率的に行われたい。